かすみがうら

第167号
＜毎月1日発行＞
■ 発行所 ■
霞ヶ浦医療センター
かすみがうら編集局
〒300-8585
土浦市下高津2-7-14
Tel: 029-822-5050
Fax: 029-824-0494
E-Mail & WebSite
kasumi@hosp.go.jp
http://kasumi-hosp.jp

地域包括ケア病棟のご案内

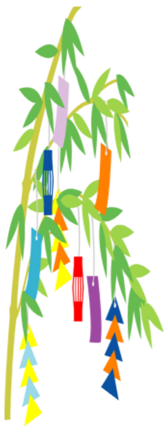
　茨城県では、国の方針に基づいて「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでおり、土浦市においても「地域包括ケアの充実と推進」を政策目標と定めているところです。
　それを受けて、当院では

平成二八年七月（予定）

より、地域包括ケア病棟をオープンします。
　地域包括ケア病棟って何だろう？という方の為に、ご案内いたします。

★地域包括ケア病棟とは

　手術や急性期の治療が終了した患者さんに対して、在宅や介護施設への復帰支援に向けた医療や支援を行う病棟です。
「地域包括ケア病棟」では医師や看護師、リハビリスタッフが患者さん、ご家族と協力し、患者さんの在宅復帰に向けた治療・支援を行い、退院後のケアについてサポートいたします。
　当院では西三病棟に三八床（一般三一床　個室七床）をご用意しています。



入院（急性期治療）⇒ 病状が安定・軽快 ⇒ （60日限度）地域包括ケア病棟 ⇒ 自宅退院
⇓
退院

★どんな場合に入院となるのか？

　一般病棟より地域包括ケア病棟へ転棟する場合は、主治医の判断により、患者さんとご家族に了解いただき、地域包括ケア病棟へ移動し、継続入院となります。
　入院期間は状態によりますが六〇日が限度となっています。

★入院費について

　地域包括ケア病棟は、入院費の計算方法が定額となり「地域包括ケア病棟入院料」を算定します。
　リハビリテーション、投薬料、注射料、処置料、検査料、入院基本料、画像診断料等の殆どの費用が含まれています。

★入院に対する留意点

　一般的な血液検査、レントゲン検査、投薬治療は可能ですが一般病棟で行うような高額な医薬品の投与や特殊な検査、手術などには対応しません。
　病状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば一般病棟に転棟（変更）する場合があります。

民謡の公演やりました

　去る六月一五日（水）に、当院通院されている患者さんで二代目中村天心さまという方とその仲間の皆さんが当院にいらっしゃり、民謡の公演をして下さいました。中村さまは日本郷土民謡協会の教師や、茨城県郷土民謡協会の教授をされていますが、当日は小太鼓、尺八、三味線等をお持ちくださり、全国大会で優勝されたという方がそれらの伴奏にのせて色々な民謡を熱唱して下さいました。患者さん方は大喜び。手拍子したり、一緒に歌ったり、リクエストを歌ってもらったりして大いに盛り上がりました。あまりにも素晴らしいご公演でしたのでまた一一月頃に来て頂けないかお願いしましたところ、前向きなお返事を頂きました。詳しいことが決まりましたら、またこの紙面でご連絡いたします。おかげさまで当院の毎月定例イベントもだいぶ軌道に乗ってまいりました。

今月は日本舞踊です

　さて今月は、がまの油売り口上と日本舞踊の公演で、和弘一座という皆さんが来て下さいます。昨年の九月にも来て下さったのですが、とても素晴らしいご公演でした。どなたでもご参加いただけますので、ぜひ皆さんお誘い合わせの上お越しください。

日時　七月一三日（水）午後二時～三時
場所　研修棟講堂

花壇が綺麗になりました

　六月上旬に玄関前の池周辺とバス停前などに花を植えました。一週間前からせっせと耕し、看護助手や事務員で協力して五〇〇本近い花を一斉に植えました。これから日差しも強くなり暑い日が続くと思いますが、元気に育ってくれればと願っています。
　患者さんの一時の癒やしになっていただければ幸いです。

乳腺外来増員のご案内

　平成二八年五月一〇日より医師増員により乳腺外来予約枠が増設されましたので、ご案内いたします。
　まず、乳腺外来の対象疾患についてご案内いたします。
自己検診により
・乳房のしこりに気づいた方
また
・乳房が異常に腫れてきた
・乳頭から分泌物があることに
　気づいた
・急に乳頭がくぼみ始めた
・乳房の皮膚にくぼみやひきつ
　れがみられる
・乳頭の湿疹が治らない
・わきの下に腫瘤、しこりがで
　きていることに気づいた
・乳房が痛みや熱を伴い赤くな
　ってきた
など自覚症状のある方
　もしくは乳がん検診を受けられて「精密検査を要する」という結果をお持ちの方などが対象となります。
特に症状はないけれど
・乳がんが心配
・乳房に違和感がある
　という方は、乳がん検診外来に該当しますので診療予約センターにて乳がん検診外来の予約をお取りください。
　乳がん検診外来は、毎週火曜午後、毎週水曜午後に開設いたしており、完全予約制の外来となっております。（完全予約制なので初診の方でもご予約を承っております。）
　次に外来診療日のご案内です。
毎週金曜午後開設している乳腺外来に加え、毎週火曜午前と毎週木曜午後に増設されました。
　いずれも完全予約制の外来になっておりますので、予約をお取りください。
　尚、毎週木曜午後の乳腺内分泌外来は、甲状腺、副甲状腺、副腎疾患などの内分泌疾患も対象としております。

●紹介状や健康診断結果をお持ちの方／地域医療連携室にてご予約を承ります。
・地域医療連携室
（平日八時三〇分～一七時一五分）
〇二九（八二六）七五五九

●紹介状のない方／診療予約センターにてご予約を承ります。
・診療予約センター
（平日一二時三〇分～一六時）
〇二九（八二六）六四七一

ダメダメばかりじゃない栄養指導を目指して

　これまで栄養指導といえば、糖尿病や高血圧・心臓病など生活習慣病しか対象ではないイメージがあったと思いますが今年四月から
・がん闘病中の方
・食べる機能回復訓練中の方
・低アルブミン血症
（三.〇g/dl以下）の方
など、医師の指示があれば、栄養指導が受けられるようになりました。
例えば・・・
・手術後の腸閉塞（イレウス）が不安
・病後のひとり暮らしで、自炊が負担
・食欲がわかなくて、家で食事することが苦痛
　こんな悩みを管理栄養士が一緒に話し合い、解決へ導いていきます。
　おひとりおひとりの生活に配慮した提案を個別相談で行いますので、ご安心下さい。
　栄養指導は医師の指示により予約制で行っています。希望される方は、診察時に医師へご相談ください。

新メニュー「おにぎらず」

特別メニュー食、久々の新メニュー登場です★

最近話題になり、病院では珍しいものを・・・というイメージで調理師長と献立検討した結果、「おにぎらず」の提供が決まりました！

皆さん、「おにぎらず」ってご存知ですか？

「おにぎらず」マンガ「クッキングパパ」（講談社刊）二二巻で「超簡単おにぎり」として紹介されているレシピ。

二〇一五年、流行語大賞にもノミネートされました。

「握らないおにぎり」という事で、ご飯を握る必要がなくて手が汚れず、食べやすいと主婦や若い女性に大人気のようです。病院メニューとしては新しい！という事で提供日当日のメイキング写真を公開します。

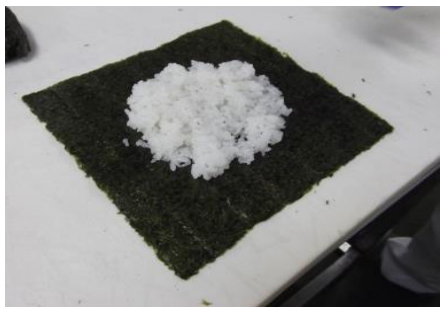
＜材料＞

（焼肉）

・ごはん　八〇グラム
・豚モモスライス　三〇グラム
・焼肉のたれ　小さじ二
・レタス　一～二枚
・焼きのり（大判）　一枚

（ツナ）

・ごはん　八〇グラム
・シーチキン　二〇グラム
・きゅうり　五グラム
・カニかまほぐし　五グラム
・マヨネーズ　小さじ一と二分の一
・焼きのり（大判）　一枚

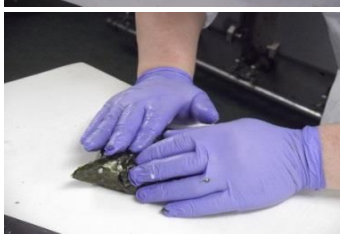


一、大判のりの上にご飯をのせる

二、ご飯の上にお好みの具材をのせる

三、更にご飯をのせ具材を包み込む

四、のりを中心に向かって折りたたむ
（ここが通常のおにぎりと違います！）



愛情込めて一つ一つ丁寧に包みます…♪

・おいしかったです。
・食が進む美味しいものでした。

これからも食欲が落ちやすい暑い夏にもってこいのメニューです。ぜひ皆さんも試してみてはいかがでしょうか？

今後も具材を変えて提供予定です。乞うご期待！！

ツナ味も綺麗に仕上がりました★

五、二つに割って完成！

今月の書評

「沈みゆく大国アメリカ〈逃げ切れ！日本の医療〉」堤未果著

～小児科　山口真也～

先月読んだ本の中で、一番衝撃的だったのは、日本未来の英社会編集部に勤務する私も、もっと勉強しないと思いまして、当院機構病院の端くれとして暮らせるよう、日本の国立病院に、国民皆保険を守る役割を担うべく、日本の国民皆保険を提供するだけになり、日本が誇る国民皆保険を利益の外資系企業が、自国の株主を通じて、TPPが成立してしまうと、その後は日本の六〇兆円とも言われる医療マーケットを狙う外資系企業のための「医療サービス」が入ってきて、ついには国民皆保険が崩壊し、アメリカのように、一部の金持ちだけが高額な民間保険に入り、貧困層は保険に入れず、治療を受けられずに死んでいく社会になってしまうのではないか。

日本も韓国のようにするためには、我々一般の国民がもっと日本の医療の現実、よい点と悪い点、アメリカの医療事情などについて知らなくてはならないと思いますが、この本を書いてくれました。医者ではない私自身も知らなかったことがあまりにも多く、衝撃を受けています。

国家戦略特区で医療の規制がどんどん取り払われていますが、国民皆保険はどうなるのか。薬の値段が跳ね上がったらカバーしきれなくなって、公的保険はどんどん縮小されていくのではないか。

次に来た場合、その後でもTPPが成立してしまうと、規制緩和の不都合が明らかになっても、再度規制することができなくなってしまうという項目が入っていることです。

日本も韓国の二の舞にならないよう、国民皆保険制度を守るために、一人一人ができることは何か、考えさせられる本でした。

〈七月集団指導のご案内〉

☆減塩教室

日時　第三木曜日　午後二時～

場所　第四会議室

二一日『お宅の味噌汁、味付けどうですか？～色々な濃度の味噌汁で味覚をたしかめてみよう～』管理栄養士

☆糖尿病教室

日時　第一～四金曜日　午後三時～

場所　第四会議室

一日『病院食から料理のコツを学ぼう！』管理栄養士

八日『糖尿病網膜症について』眼科医師

一五日『糖尿病とは・・・原因・症状・合併症など』内科医師

二二日『糖尿病とくすり』薬剤師

※予約の必要はありません。お気軽にお越しください。